

2022 年折返し

早いものですね！ 2022 年も既に折り返し点を過ぎてしまいました。

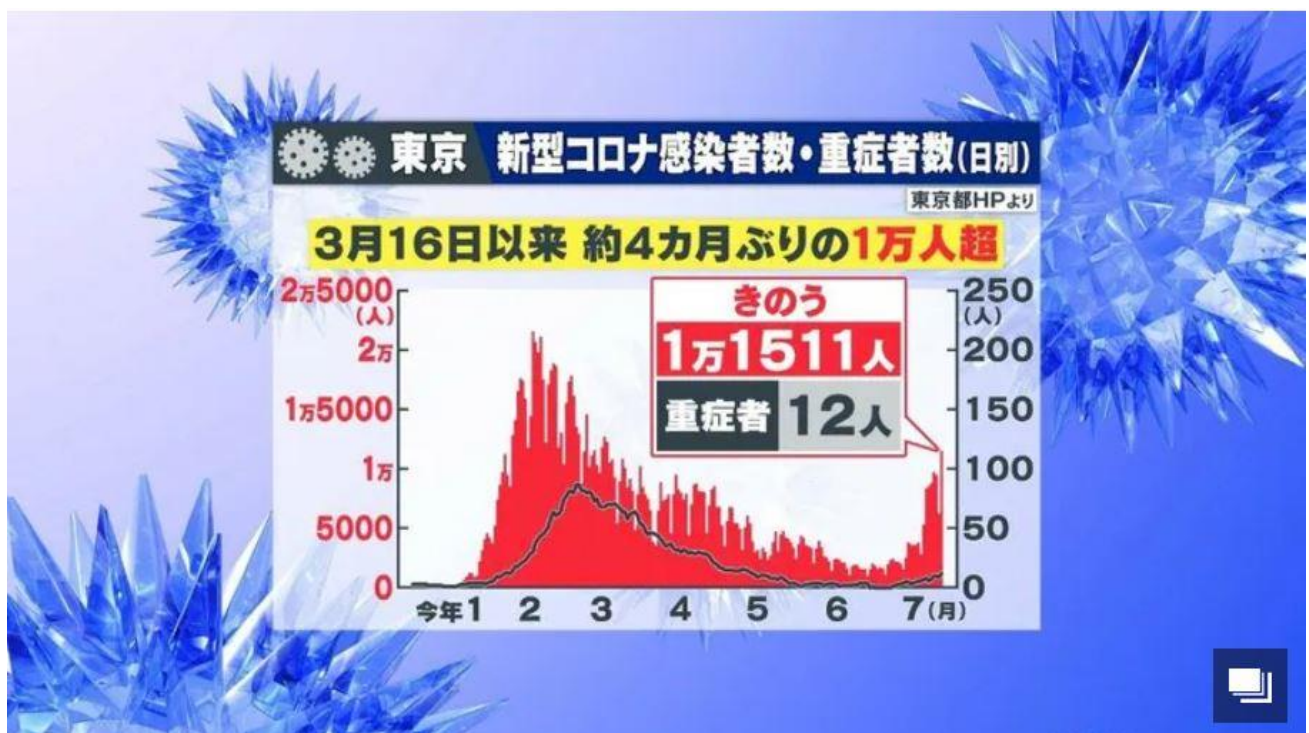
我々には追いついていけないほど世界中で激しい変化が起きています。

このあたりで一度 2022 年を振り返って、この先の自分たちの対応策が無いものか
考えてみることにしましょう。

何をおいても 1 番は

<コロナの感染拡大>

昨年末頃から鎮静化していた感染者数が年始以降次第に増加して 2 月には第 6 波、
波がピークを迎えました。感染の波が来るごとに規模が拡大していますね。その後
はだらだらと減少傾向が続きますが 7 月には急激な増加カーブを描いて第 7 派とな
りました。



そして感染者の年代層が 70 代以降の高齢者から 10 代未満から 40 代にかけての若年層・青年層に代わってきたことが大きな変化のように思われます。

一方、コロナ自体もオミクロン株、BA2、BA4、BA5等次から次へと変位し、人間とウイルスの”いたちごっこ”の様相を呈してきました。

経済活動も大切ということで行動制限が次第に少なくなると同時に人々の警戒感が緩んできたとも言えるのではないのでしょうか。



我々にできることは対コロナ基本対策

・3密回避 ・手指消毒、うがい ・マスク着用

これらのことを我慢強く続けていくことが重要だと思います。

言い忘れないように記しておきますが最近では高齢者の感染比率が比較的低いので

はワクチン接種の効用が大きいと考えられています。若年者の方々のワクチン接種が進展することを願ってやみません。それに検査・治療薬が次第に普及しつつあることは朗報ですね。

コロナ問題についてはまだまだ書くことが沢山ありますがとても全てを書き尽くす事はできません。今回はこれで終わります。

飲食の場面におけるコロナ感染症対策のお知らせ

国民の皆様へ ~飲食店を選ぶ際のポイント~

●座席の間隔の確保
(又はパーティションの設置)

●食事中以外の
マスク着用の推奨

●手指消毒の徹底

●換気の徹底
(1,000ppm以下で)



※自治体の認証を取得した飲食店では、上記対策が実施されています。
各都道府県のホームページで認証を取得した飲食店の確認ができます。

内閣官房

2 番目は

<ロシアによるウクライナ侵攻>

2月24日午前5時(ウクライナ時間)、プーチンはウクライナ東部で「特別軍事作戦」を開始すると発表しウクライナに侵攻を始めました。

溯ること3日、2月21日にはウクライナ東部のドネツク州とルガンスク州を人民共和国として独立を承認する大統領令に署名しています。

何を考えているのかわかりませんが自国内の州を独立承認するのはわかりませんが

他国の州を独立承認するなど考えられない暴挙です。

このことを言い訳にした軍事侵攻ですから、ウクライナをはじめ西側諸国からの激しい反発が始まりました。



軍事力では10対1と圧倒的な勢力で短期決戦で終了すると見込んでいたと思われるロシア軍でしたが、ウクライナ軍の激しい抵抗に会いキーウ、ハルキウの占領に失敗し敗走したようです。このあたりの事情はここで説明するまでもなく皆さんの方がよくご存じのはずですね。



ウクライナにとって情勢は決して楽観視できる状況ではないようですが、ここでロシアの暴挙がロシア勝利で終了するようなことがあれば、「力で現状を変更すること」が正当化されることになり、世界は混とんとした「力の支配」になって行くことになる。その意味で、決してロシアの侵攻を許してはならず、この戦争でロシアに勝利を与えてはならないというのが多くの人々の考えではないかと思います。

そして、この戦争は単にウクライナを破壊するだけに留まらず、穀物の流通を阻害することでアフリカなどの貧国の飢餓を招いていることも見逃せない事実です。

この問題についてつい最近、国連、ウクライナ、ロシア、にトルコを加えた交渉が始まったというニュースが流れているが正常に機能するかどうかは予断を許さない状況だともいわれている。

政治的にはスウェーデン、フィンランドのNATO加盟、ウクライナのEU加盟等でロシアの誤算は明らかです。また経済面でも西側諸国の経済制裁の影響を受けてロシア側の長期的な経済状況は相当厳しい状況に陥ることは避けられないであろうと思われます。ただこの経済制裁は自分達への跳ね返りという面で西側諸国にとっても決して楽な展開は望めないものとなっています。

いずれにせよ戦争というものは決して「勝者のない戦い」と言われるようにお互いを消耗させるだけで相当ひどい破壊を受けたウクライナの復興を思うときこの先の苦難が思い浮かんできますね。



余談になりますがロシアは他国に攻め入って破壊を続けているわけだが、ウクライナがロシア国内の基地に一発のミサイルも打ち込んだというニュースを聞きません。前線への補給基地を叩くのは戦略上も大きな意味を持つことだと思うのです。ただ、これは全面戦争を避けるためのウクライナと支援国の配慮なのかも知れません。

3番目は

<値上げラッシュ>

この問題は1番目、2番目のテーマと関連があることですがこのところの値上げラッシュは甚だ深刻です。まず、その原因を探ってみましょう。

◎2022年5月、総務省が発表した4月の消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、前年同月比+2.1%となりました。

◎日銀が発表した4月の企業同士の物価「国内企業物価指数」は、前年比+10.0%となっています。



このように日本ではコロナ過で不況の中、賃金は上がらないまま物価だけが先行して上昇を続けるという悪質なインフレが進行しているのです。

◆インフレになった3つの原因

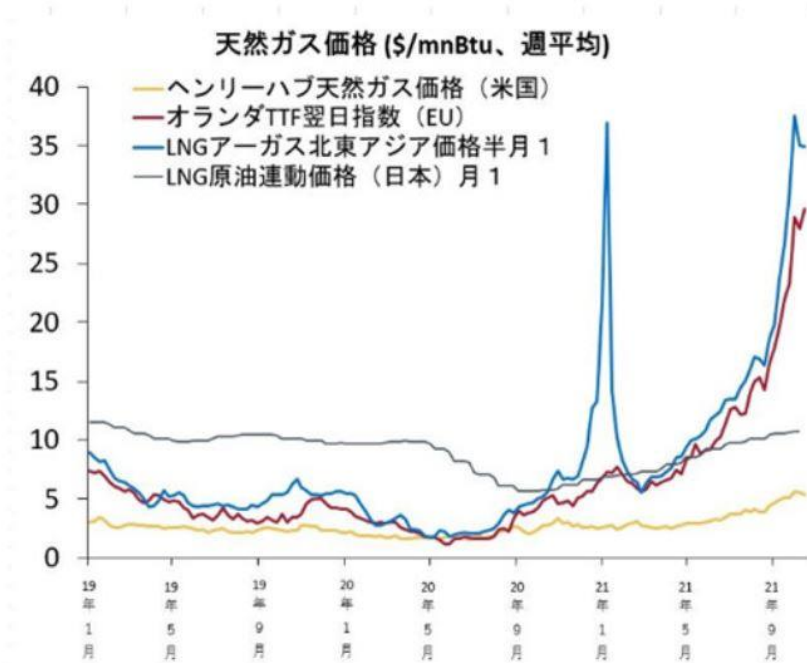
原因 1. 原油や天然ガスなど資源価格の上昇

新型コロナワクチンの普及に伴い経済活動が再開、世界的にエネルギー需要
高まり、価格が上がりました。

足並みそろえる

天然ガス価格は今年、欧州とアジア双方で急上昇した。天然ガス相場の動きは通常、地域が限定されており、今年は異例な動きを見せている。

(100万BTU当たりの天然ガス価格。週平均、ドル)



出所：ブルームバーグ、Argus Direct、IMF職員の試算。

IMF

そこに、ロシアのウクライナ侵攻が追い討ちをかけ天然資源、特に燃料が高騰しました。

原因 2. コロナ禍での供給不足

世界的に見て、需要に対する供給が追いついていません。

そして、中国のゼロコロナ政策のように経済活動を犠牲にしてコロナの抑え込みを図る事で生産活動が停滞したり、港湾荷役が停滞して流通がマヒするなどの影響が生じて必要な品物が入手できなくなってしまう等、世界的に供給が不足

する事態が生じています。このような原因以外にも世界的な半導体の供給力不足による生産の停滞などがあって経済活動が鈍化しているのが現状です。



原因 3. 急激な円安による輸入価格の高騰

◎ここ数年、1ドル 110 円前後だった円相場。今年 4 月には 130 円台をつけ、20 年ぶりの円安ドル高となりました。悪い円安がささやかれる中、一体何が起きているのでしょうか。為替相場はさまざまな要因で変動しますが、インフレ関連に絞って見てみましょう。

◎米国の景気回復と人手不足が引き金 今回、円安のきっかけとなったのが、米国の景気回復と人手不足です。2021 年以降、人材確保のために賃金が上昇し物価も高騰。2022 年 3 月にはインフレ率が 8.5%にまで跳ね上がりました。そこで米国は、金利を上げて景気にブレーキをかけ、インフレを抑えようとしています。金利が高い米ドルが買われ、低金利の日本円が売られた結果、円安

ドル高になっています。



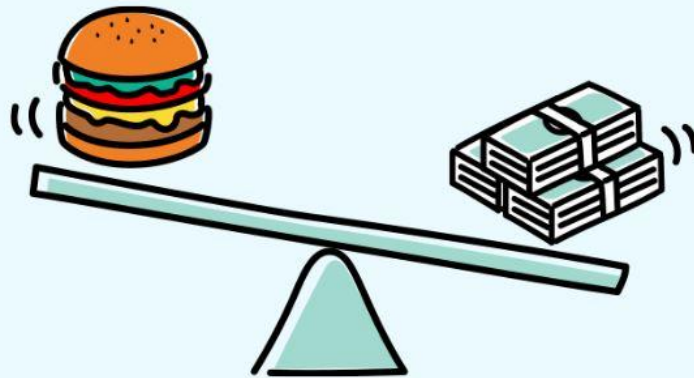
ドル円日足

◎資源価格の高騰も影響

資源価格の高騰も円安ドル高を加速しています。日本は原材料を輸入に頼っており、輸入額が増えるとドルによる支払額が増加します。その際、円を売ってドルを調達する必要があるため、円安ドル高につながっています。

◆消費者が今すぐできる対策

資源価格の高騰など一時的な要因はあるものの、物価上昇はこれからも続くでしょう。今すぐできる対策を3つ紹介します。



■対策1・節約

節約 節約というと、まず思い浮かぶのが食費や光熱費の削減です。ただ、我慢を強いる節約は続きません。そこで実践したいのがストレスの少ない節約。高額で効果が持続し、我慢が少ないものから削っていく方法です。代表的なのが住居費、保険料、スマホ通信費で、中でも手をつけやすいのがスマホ通信費。今では大手キャリアの2年縛り解約金が廃止され、格安スマホに乗り換えやすくなりました。スマホ1台あたりの相場は月額3000円前後。家族で乗り換えれば、年間10万円の節約も可能です。

■対策2・資産運用

インフレは同じ値段で物が買えなくなるため、実質的に現金の価値が下がります。
【インフレ率が2%の場合】100万円が20年後に67万円まで目減り 資産の目

減りを防ぐには、インフレ率を上回る利回りで資産を増やす必要があります。投資初心者には、インデックス型投資信託の長期分散投資がお勧めになります。積立 NISA などを活用し、国や商品を分散、10 年単位の長期で積み立てます。まずは全世界株式型から始めるのが良さそうです。値動きをマイルドにしたい場合は、バランス型を組み合わせる方法があります。リスクを十分に理解した上で、自分に合った資産を運用しましょう。



■対策 3・収入を増やす

節約や資産運用だけでは、インフレ円安が心配な場合は、収入を増やす方法を考えましょう。たとえば、専業主婦がパートに出る、パートの労働時間を増やす、副業を始めるなどです。

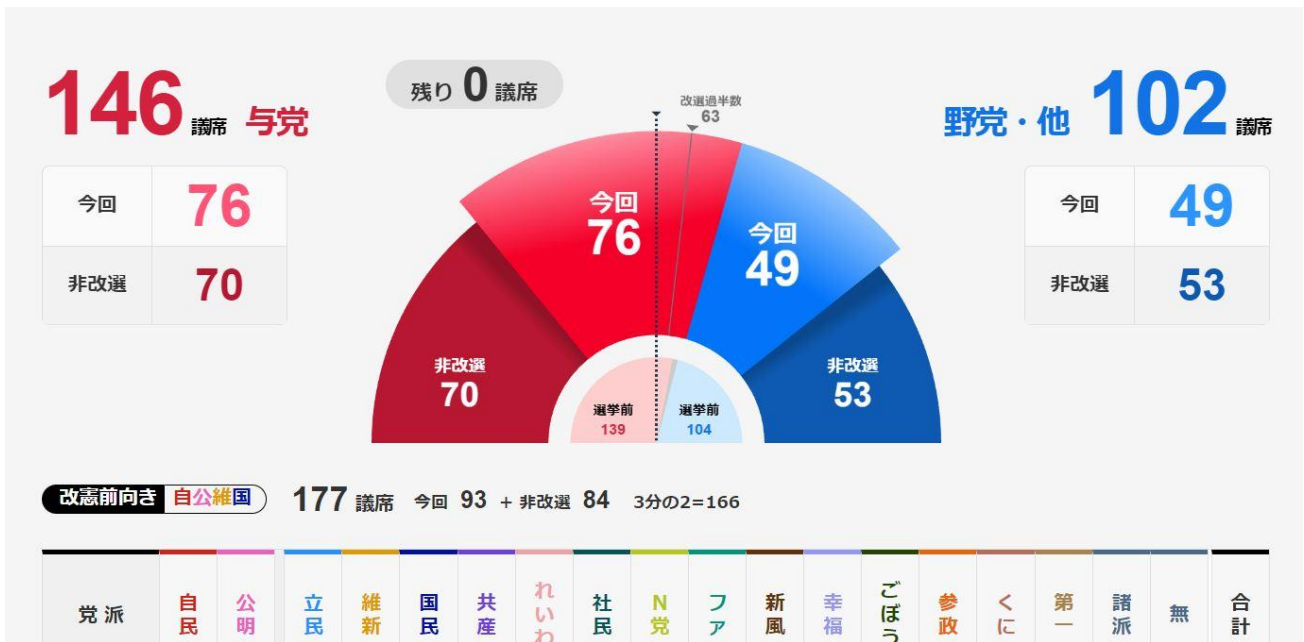
デフレに慣れている日本人にとって、インフレは脅威に感じるかもしれません。節約、資産運用、収入増などの工夫をして、インフレ円安に備えてください。

実際の運用に当たっては各自の事情を勘案し、自己責任で運用してください。

次は、先日投開票が行われた参議院選挙

<参院選>

結果としては自民党の大勝で、単独で過半数を獲得し、衆参両院で安定多数を獲得しました。さらに改憲勢力として全体の 2/3 以上の勢力を確保したことになり言い換えると自民党にとっては大抵のことはやりたい放題ということになりました。この結果をどう考えるかについては投票した方々にお任せするしかありませんが、私自身は非常に危険な状態と考えています。



結果はさておき、選挙戦終盤に起きた阿部元総理銃撃事件については本当に驚きました。当初、テロ事件との発言もあったようですが、真相がわかってみると怨恨事件のようです。容疑者の思い違いもあるようですが阿部元総理側にも宗教団体を票田にしたことが遠因で発生した事件ということも言えるようです。



しかしながら、原因が何であれこのような蛮行は厳しく非難されなければなりません。

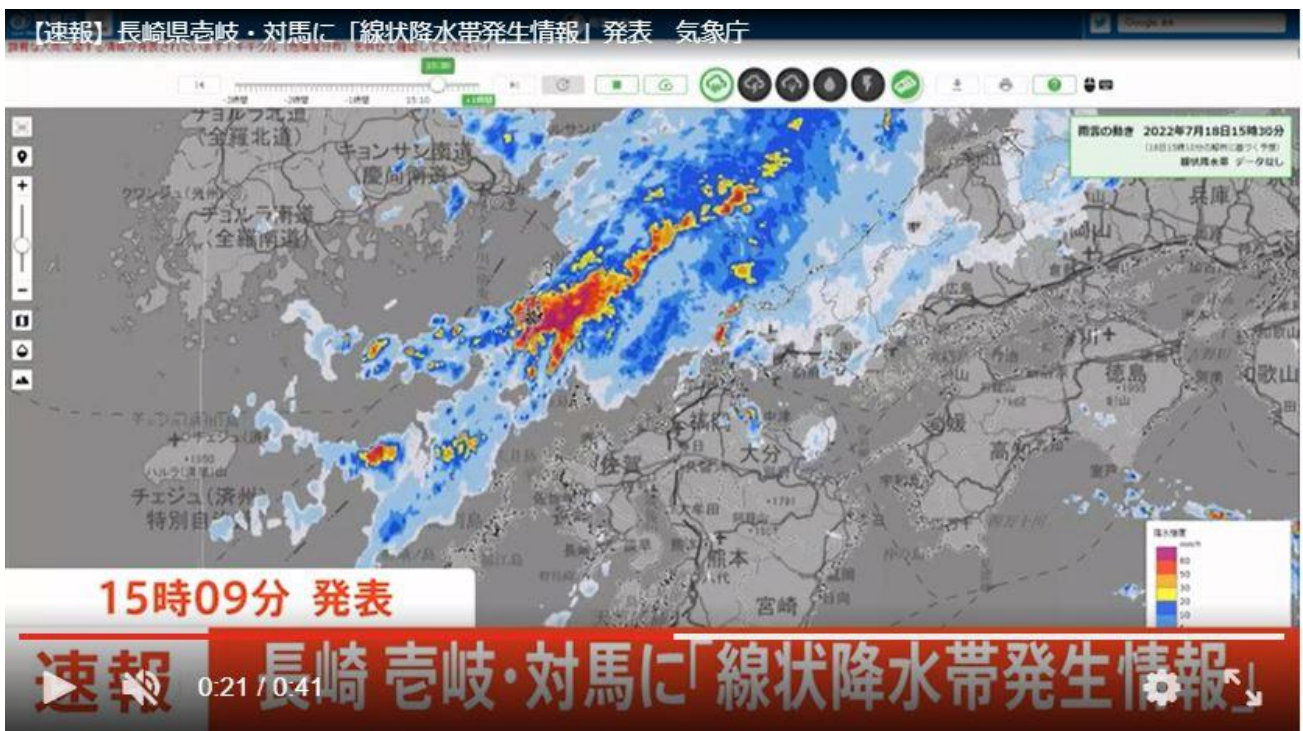
様々な外国要人から追悼の意が寄せられる等外交面での活躍があった一方、国内では森友・加計問題や「桜を見る会」等、金にまつわる噂の絶えない体質の持ち主でもあったようです。

死者に鞭打つつもりはありませんが銃撃事件で犠牲になったからと言ってこれらの問題が帳消しになるものではないと思います。

<まとめ>

いろいろ取り上げましたが半年の間にこれほど色濃い事象、事件の多かった年が過去に有ったでしょうか？取り上げられなかった事象もいくつもあります。

異常に早かった梅雨明けとそして戻り梅雨、この投稿を思案中もテレビでは九州北部と南部に線状降水帯の発生警報が発表されるなど想定を超えるような天候の変化等、新しい話題はまだまだ尽きそうにありません。



政治・経済や自然現象等、様々な面で平穏で平和な世界が続きますよう願うばかりです。